



第100回なかよしの掃除に学ぶ会 (2019.5.19) 奈良県大和郡山田 源九郎稲荷神社

【認定NPO法人 日本を美しくする会】

清風掃々

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

●「日本を美しくする会」の理念

「掃除を通して心の荒みをなくし、

世の中を良くすることが私たちの心願です」

人は、いつも見ているもの接するものに心が似てきます。目の前の汚れたものをきれいにしましょう。とくに人の嫌がるトイレをきれいに磨くと、心もきれいになります。トイレ掃除は、「自分を磨くための」二番の近道で確実な方法です。

すべては一人から始まります。家庭や学校、職場、地域で、一人からでも掃除を始めましょう。そして仲間を増やしましょう。掃除をする人は汚さなくなります。

「二人の百歩より、百人の一步」。人々が毎朝一斉に身の回りを掃除したら、日本中に心地よい風が吹き、穏やかな一日が始まります。そうなれば人々の心が美しくなり、日本はそして世界はかならず良くなります。

「清風掃々」を手にした方へ
どうぞ、どのページからでもお読みください。

この時、この場所、この縁、よりよく、美しく

清風掃々

39



特集

トビックス

教育と掃除

SDGsと経営

ひとり掃除の喜び

私の掃除履歴書

佳書抄録

ちいき通信

掃除に学ぶ会の代表世話人名簿

出逢い・ドラマ・感動

イタリア通信(2)

長野県中学校清掃サミット

寺田一清先生を偲ぶ

問題教師の私を変えた掃除

掃除から学んだ「おかげさま」の心

コロナ禍での社会貢献活動

夢兄弟を慈しむ夫婦夢拾い

「きれいい好き」が人生を変えた(2)

「ひたすら鍵山掃除道」(1)

鍵山秀三郎「一日一話」

羽根 康英(なかよしの掃除に学ぶ会)

マニセラ・ロサリオ(イタリア).....

太田 智明(長野便教会).....

北川 伝吉(泉州掃除に学ぶ会).....

鍵山 秀三郎.....

村上 和弘(広島県高校教諭).....

保科 達彦(新宿調理師専門学校).....

川野 士郎(神奈川県).....

日下 修・しずえ(夢拾い宮城支部).....

小畑 貞雄(多賀城掃除に学ぶ会).....

阿部 豊・講演録.....

鍵山 秀三郎(著) 亀井 民治(編).....

36 NPOとは 認定NPO法人日本を美しくする会.....

42 「川柳コーナー」を始めます! 45 ひろば.....

特集

出逢い・ドラマ・感動

道場で若者を育てる警察官

なかよしの掃除に学ぶ会

羽根 康英



自宅に道場をつくり、掃除をし、「志」を語り合い、若者の育成に励む現役警察官がいる。羽根康英さん59歳。

トイレ掃除との出逢い

羽根さんは、1962年生まれ。1981年奈良県警奉職、ピストル射撃教官となり、国体など

に出場。国体2位以上の成績が出ずにもがいていたとき、広島県警竹内光弘氏の「トイレ掃除による暴走族更生」の論文を読んだ（『清風掃々』第35号）。道を外れた子どもの心を変えるトイレ掃除とは、一体どういうものか。

2002年「奈良掃除に学ぶ会」に参加した。ひどい臭いの中、素足に素手で便器を磨く行為に衝撃を受けた。指示にしたがって磨くと汚れが落ち、そして便器が真っ白にピカピカになり、何ともいえない達成感があった。その感動の中で気づいた。

「私は便器に手をつけるほどの思いで射撃に向かっていただろうか。一番になることに囚われ、競技の喜びや感謝の気持ちに欠けていたのではないか」 現役最後

として臨んだその年の国体で久々に入賞した。そして自分を見つめ直し心を磨くために、トイレ掃除をやろうと決心した。

青少年健全育成のトイレ掃除へ

2004年中吉野警察署交通課長、2006年生活安全課長に異動。県立大淀高校の非行防止教室に赴いたときに、胸に秘めていたトイレ掃除を提案した。生徒5名で始めることができた。その後次第に参加者が増え、少年補導員が豚汁などを作って応援するようになり、彼らは「青少年健全育成大会」で発表した。この活動は、翌年大淀高校の特別活動学習指導研究会の研究主題になった。羽根さんは、トイレ掃除は学校と地域と警察が一体となれる活動だと確信した。

教育長の大粒の涙

2007年、近鉄駅前で少年たちがたむろしているという苦情が入った。現場に行くと、20名ほどの茶髪の高校生が座り込んで騒ぎ、ゴミを散らかしていた。羽根

さんを見ると、「何しに来た」と威嚇した。翌日も行くと、3人が話しかけてきた。そこで「ゴミを拾おうよ」と言うと、手伝ってくれた。

ゴミを拾いながら商店街の方に進んでいくと、店の人が「ありがとう」と声をかけてくる。少年たちはやる気を出し、袋いっぱいゴミを拾った。羽根さんは、彼らをトイレ掃除に誘った。

約束通り3人の少年が現れた。以前検挙した少年も含めた4名が、「奈良掃除に学ぶ会」の人たちと観光文化センターのトイレ掃除

をした。少年らは、トイレに恐る恐る手を出した。ところが、汚れが取れるにつれて便器磨きに没頭し、両膝と片手をついてたわしで床を磨き、そして晴れ晴れとした笑顔に変わっていた。

終了ミーティングのときである。教育長がやってきた。教育長は少年たちを見て、大粒の涙を流し「ありがとう」と言った。その瞬間少年たちは呆然となった。それから少年たちの言葉が敬語に変わったのだ。駅前の少年のたむろは、やがてなくなった。

たった一度のトイレ掃除だったが、これで終わらなかった。翌年春、その一人が「羽根さん、またトイレ掃除したいです。就職面接でトイレ掃除の話したら採用されました」と、お礼に來たのだ。

2011年には、もう一人が「掃除に学ぶ会」に現れ、調理師資格を取ったことを羽根さんに報告に來た。2人は5年ぶりのトイレ掃除を一緒にした。そして少年は奈良掃除に学ぶ会のメンバーになった。

羽根さんは嬉しそうに話す。「人に認められることが少なかった少年たちは、警察官と一緒にトイレ掃除をしてくれることに驚いたのです。トイレ掃除を通じて大人と心が通い合ったのです。掃除をすると、謙虚になり、気づく人になり、感動の心が生まれ、感謝の心が芽生えて心が磨かれると実感しました。そして私も妻に『ありがとう』と言えるようになりました」

志を語る研修道場をつくる

羽根さんは、青少年育成は取

り締めただけでは不十分で、彼らの心を育てることが大事だと思うようになった。2009年、「中吉野」と「仲良し」をかけた「なかよしの掃除に学ぶ会」を立ち上げた。さらに、若者の提案で、私塾「心洗組」をつくり、神社仏閣を清掃する活動を始めた。

庄巻は、自宅隣の家屋をリフォームして、研修道場を作ったことである。壁に額や掛軸などを掲げ、プロジェクトとスクリーンなどを備える20畳。この道場は、羽根さんが若者に公務員試験指導をしたり、ときには食事もとりながら志を語り合う、羽根さんの青少年育成に賭ける情熱の象徴である。

成長する若者

2011年3月、東日本大震災発生。若者たちは「被災地の力に

なりたい」と、募金のほか、生活用品や子供用自転車13台を集めた。羽根さんは、車でこれらを被災地に2回届けた。

同年9月、台風12号で奈良県十津川村に甚大な被害が出た。9名の若者と羽根さんら有志5名が復旧支援に行った。現地では、橋が流され道が寸断されていた。岩や土砂を撤去して道をつけ、丸太を切って谷に橋をかけることにした。村の人は「7日はかかる。素人には無理だ」と言ったが、彼らは夕方までにやりとげた。村の人に大いに喜ばれ、この道は「なかよしロード」と名付けられた。

(写真)

羽根さんという。「公務員志望の子らは、社会の役に立ちたい意識が強いですが、トイレ掃除



によって問題解決能力が育ったと思います。汚いものに手を出すということは、問題に近づくということです。心の壁を取り去るトイレ掃除の力はすごいです」

被災地に学ぶ会

翌2012年若者たちは、被災地を見たいと言った。奈良掃

除に学ぶ会の有志と「被災地に学ぶ会」を結成し、現地を訪れた。大川小学校では、案内の奈良県警から出向の警察官に「ここで骨を拾って、ご家族にお渡しするのが私の役目です」と聞いて、若者たちは絶句した。重機を運転して娘さんを探すお母さんとお祖母さんからも話を聞いた。

被災地は、自己を見つめる場となった。旅が終わって、2人の若者が警察官を目指した。1人は羽根さんの子息だ。「心洗組」で学んだ若者は40名、トイレ掃除を経験した警察官は奈良県警で70名以上となった。

出逢い、ドラマ、感動

羽根さん「大淀高校で、生徒会から参加した瑛里ちゃんは、その後も一緒に掃除を続けました。

便器に手を入れたことで、目の前の困難を乗り越える力が身につき、たくましく成長したことに驚いています。3年前に結婚して北海道にいますが、里帰りの度に顔を見せてくれます。

震災支援活動に参加した友美ちゃんは、一人で何度も被災地に行き、石巻の保育所に毎年実家ですてた梨を届けています。

2年間心洗組でがんばった稜ちゃんは、今春夢だった警察官試験に一位合格し県警に入りました。仏壇の前で手を合わせ、亡きお父さんに号泣して報告していたと、お母さんから聞きました。

毎回行き出逢いがあります、ドラマがあります。この感動は私のエネルギーです。トイレ掃除に出逢って、本当に良かった」

…羽根さんは再来年定年退職するが、この道場で若者の育成をさらに続けようと考えているようであった。

(取材 編集室)



道場開設式 (2018.4.29)

(639・2164 奈良県葛城市長尾282)

特集(海外)

イタリア通信(2)

「掃除道」翻訳本の出版

イタリア マニセラ・ロサリオ

4冊出版しました。イタリア国内での反響を報告します。

個人および社会レベルの反応

鍵山さんの本に対して、イタリアの個人や社会は、非常にポジティブな反応を示しています。ブラジルとロシアのワールドカップでの日本人ファンによるスタジアム清掃の報道もあり、日本は清潔を愛することで知られています。鍵山さんの本は、この印象を裏付けました。

鍵山さんらとブレッツシャの地区

を掃除して帰った少女リナちゃん(9歳)は、父親に言いました。「お父さん、道端にタバコの吸い殻を捨ててはいけないよ。でないと日本人の人がまた掃除しにイタリアに来なければならないよ……」

本のおかげで、掃除に対する感性が高まって、多くの人が家の周りを掃除し始めました。妻と私が毎週自宅周りを掃除していることも、他の人々に良い影響を与えていると思います。市が設置したゴミ箱にゴミを捨てに行く途中で、他人の捨てたゴミを拾う人がたくさんいます。

イタリア各地に多くの清掃ボランティアグループができ、環境・清掃ボランティア活動に関する多くのWebサイトができています。(例 写真)



Volontariato ambientale in Italia
(イタリアの環境保護ボランティア)

をしなければなりません」と。

「街路清掃の仕事で働いてお金をもらう作業者がいる」と言う人もいますが、誰もが清掃に敏感になっています。しかし、実行する必要があります。鍵山さんがおっしゃるように、「実践」を通してのみ変化が起こるのです。

人々が感動するのは、掃除についてだけではありません。鍵山氏

多くの自治体は、市民や学校の清掃の取り組みを奨励することを決定しました。「都市は私たちのものであり、私たちはその世話

は、本物の人間として、社会の一員として、生き方を教える「人生の教師」と考えられています。

公的および企業の反応

新聞、ラジオ、テレビ、ネットなどで出版本が取り上げられ、幅広い反響がありました。鍵山さんは何度かイタリアにおいてになりましたが、そのたびに、彼の教えや模範的な行動に大きな関心が寄せられました。

私も、本の出版以来、大学、起業家・経営者協会、市民団体などからインタビュ어나講演を依頼され、今も続いています。そしてそのたびに良い反応を得ています。ただ、素手によるトイレ掃除だけは、ある種の嫌悪感があるように感じています。残りのほとんどのことについては、メディア・企業

とも、敬意を表して鍵山氏の本を受け入れました。

企業では、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を組織的に実行します。マネージャーたちも、鍵山氏の考え方に非常に同意しています。しかし、社長みずから会社のトイレを掃除しているのを見たことはありません…。

特に、最初の本「一日一話」の出版社はこの本の出版に夢中になり、この本は全国に広まり、幅広い反響を呼んでいます。ネットでは検索すれば、イタリアでの鍵山さんの本の幅広いエコーを知ることができます。

イタリアの出版社のコメント

日本の起業家鍵山秀三郎氏のイタリア語版の本は貴重な証言です。とりわけ今日の世界の重要

な問題に対する賢明な答えであり、日本の思想・文化の知恵の「真珠」であり、日本の伝統的価値観について考える手がかりとなります。2014年5月のブレシア大学での講演で「掃除」が深められたことを嬉しく思います。東洋と西洋の間で創り出される価値観の交換と個人的な関係は、より深い相互理解と豊かさの基盤になります。

(つづく)

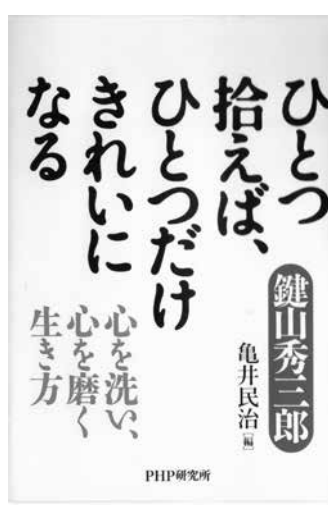


著書にサインする鍵山相談役と
マニセラさん(右奥) (2013年)

「鍵山秀三郎 一日一話」鍵山秀三郎（著）亀井民治（編）
日本語版 PHP研究所
イタリア語版 “Toilet cleaning management” 2013年出版



「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」鍵山秀三郎（著）亀井民治（編）
日本語版 PHP研究所
イタリア語版 “SOJIDO” 2014年出版



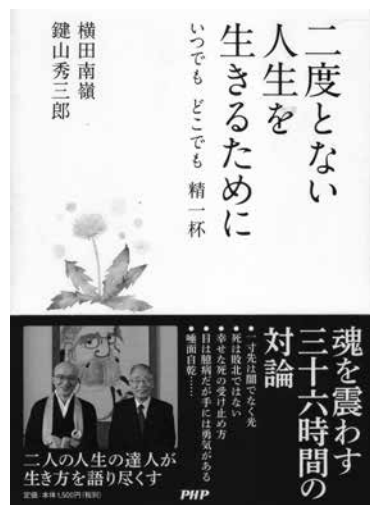
「困難にも感謝する」鍵山秀三郎（著）亀井民治（編）

日本語版 PHP研究所
イタリア語版 2016年出版



「二度とない人生を生きるために」横田南嶺 鍵山秀三郎

日本語版 PHP研究所
イタリア語版 2020年出版



トピックス

第14回長野県中学校

清掃サミット

「清掃活動」学校横断の取り組み

長野便教会 太田 智明

■日程 2021年9月5日(日)

9時半～11時半

■場所 オンライン

■参加 12校(長野県10 県外2)

67名(中学生31 先生27 一般9)

コロナ禍により、本年2月に続く2回目のオンラインで、県外から姫路市立四郷学院と福岡市立和白丘中学校も参加し、過去最高の12校で開催されました。
清掃サミットのはじまりと願い

2008年(平成20)に始めた

経緯は別の機会に譲りますが、ねらいは「清掃活動」の学校横断の取り組みを行うことです。

部活動と違い、清掃活動は生徒どうしの交流がないので、伝統という名のマンネリ化や、改善するにも何をどうしてよいのかと困っている学校があると思います。

これを改善・脱却するために、自校の課題を出し合い学び合って、より良くしていく―そうした気づきや工夫の積み重ねが、子どもたちの人生を豊かにする―そんな願いで「長野県中学校清掃サミット」を開催しています。

オンラインの実践発表と討議

第12回まで、「午前掃除実習、午後意見交換」で実施していましたが、南北に長い長野県では、県

の北部での開催だと、県の南部からは参加が難しい状況でした。

しかし、オンラインになったことで、県の南部にある箕輪町立箕輪中学校が今回初参加に加え、県外からも2校の参加がありました。これはオンラインだからこそ実現できたと思います。

実践発表では、まず四郷学院からSDGsと関連付けた朝のゴミ拾いなど地域に目を向けた取り組みが発表されました。続いて、箕輪中の発表では「お掃除に真剣に取り組むことは、人生につながる」という、鍵山掃除道に通ずる発表があり、大人もうなりました。その後5班のブレイクアウトで、共通の課題や話題を出し合って、話し合いました。司会進行も生徒に任せました。

生徒の感想

○四郷学院は、雑巾をリペアして隅を掃除する「隅っこ棒」を作るなど、SDGsを実践していてすごいと思いました。箕輪中は清掃の三本柱（「かたち」「気づき」「無言」）を大切にされていて、参考にしたいです。
（佐久穂中）

○参加校の取り組みはすごくて僕たちは放送を取り入れてみようと思います。今年始まった『プラス1「清掃」や伝統の「クモの巣ゼロ」を他校と交流できたことを本当にうれしく思います。

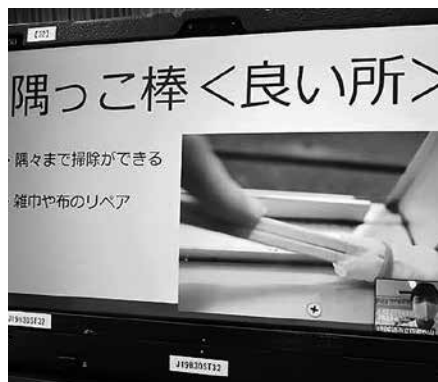
（福岡・和白丘中）

○四郷学院は、黙想を掃除の後行いますが、長野県では掃除の前だと知って驚きました。他県の中学生と話して、頑張ろうと思いました。
（姫路・四郷学院）

○来月縦割り清掃をします。三味チエックカードを使おうと思います。無言清掃をするために、他学年との交流やポスターでのよびかけなどの意見をもらいました。清掃をさらにレベルアップするように活動します。
（清水中）

○常盤中では私語が減らず、清掃の意識が低いので、他校に学ぶことが多くありました。委員が赤い手ぬぐいをかぶって率先する箕輪中や、四郷学院の隅っこ棒（写真）など、工夫や伝統を大切にしている、とてもよいと思いました。オリジナルな工夫をすると思議も高まると思いました。
（常盤中）

○自分たちに足りないモチベーションについて話が聞けて、自分も何か企画を作っていきたいと思いました。サミットは2度目でした



が、前回と違うことを聞けて楽しかったです。
（篠ノ井東中）

○清掃の大切さを再確認しました。モチベーションを上げると掃除の質が向上し、それが勉強や将来にもつながると学べたのが大きかったです。校内放送でほめたり、賞状を授与したりすることが参考になりました。サミットは本当に良かったです。
（豊野中）

○自分たちと違う清掃をしている学校があることにびっくりしたし、気になっていたことも知れて、すぐよかったです！清掃は人生につながるなんて考えたこともなかったので、本当に素敵な会でした。

（信濃小中）

○サミットはいい緊張感があり、自校紹介がおもしろく、参考になりそうなものばかりでした。グループ討論は多くの意見や質問が出て、あつという間でした。どの学校も「縦割り清掃」が効果的だと言っていて、墨坂中もやってみたいと思いました。

（墨坂中）

○「縦割り清掃」の話が聞けてよかった。自分の学校と違う点や、自分たちはできていることが課題の学校があって、教え合ってとてもいいと思った。

（三郷中）

○「移動中の私語」と「気づき清掃」について、意見を出し合いました。「黙想の目的」や「何のために清掃するか」考えている生徒が少ないとわかり、私たち3年生が手本とならなければと思いました。

（更北中）

○各学校のたくさんさんの案や企画が、すごいと思いました。「全校の清掃をよくしたい」と思っている人たちが話すグループ討論は、とても充実したものでした。今よりもっといい箕輪中の清掃を目指していきます。

（箕輪中）

まとめ

グループ討論では、清掃に対する意識の個人差をどう埋めていくかが主に話し合われたようです。意見交換によって、生徒たちの意識が高まりました。前は生徒会

を引き継いだばかりの2年生が、今回3年生になって再び参加してくれた子が多かったです。今後2年生への引き継ぎを迎え、自分自身を問い直す姿も深まったように感じました。

今後、「冬と夏の年2回開催」する意味もここにあり、こうした生徒さんが育ってくれば、長野県、そして日本の将来は明るくなると思います。



（383）0021長野県中野市西2（9、2）

寺田一清先生を偲ぶ

「泉州に会をつくってくれないか」

泉州掃除に学ぶ会 北川 伝吉

■期間 1998年9月20日～

毎月一回、ほぼトイレ掃除

■学校掃除 273回 83校

(泉佐野市20、熊取町8、田尻町2、貝塚市16、泉南市8、阪南市8、岬町3、泉大津市1、岸和田市25)

■人数 延15,225人(8月現在)

実践人の家の元常務理事寺田一清先生は、3月31日にお亡くなりになりました。北川伝吉さん(66)は、寺田先生に掃除に学ぶ会をつくるよう頼まれ、1998年に会を立ち上げました。そして、泉州地域のほと



第100回記念大会(2006.11.12)
後列左2人目寺田先生

んどの学校でトイレ掃除を行ってきた、その実績にはすばらしいものがあります。今年代表世話人を交代した北川さんに、寺田先生との思い出を中心に語ってもらいました。

*

泉州掃除に学ぶ会の発足

1998年春、「致知」で寺田先生を知り、講演をお願いしました。ご

自宅に通ううちに「泉州に『掃除に学ぶ会』を作ってくれないか」と言われました。私は、「掃除なら毎朝やっています。わかりました」と引き受けました。

9月20日「泉州掃除に学ぶ会」発足。泉佐野市末広公園のトイレ掃除に「大阪掃除に学ぶ会」から指導に來られました。私は初めてで、つま先立ちの素足に素手で始めましたが、どろっとした尿石のついた水こしに腰が引けました。しかし、汚れが落ちるにつれて夢中になり、便器が真っ白になると自分の心が磨かれたような清々しい気持ちになりました。これは、丁寧さが売り物の私のクリーニング業を越えていると思います。そして、みながこの掃除を体験すれば地域は良くなるだろうと、興奮しました。

行松俣子校長先生に出逢う

当時学校に「トイレ掃除」をお願いに行っても、宗教と思われるか断られ続けました。公園で掃除を続けていると、同業者に「ええ恰好するな。お前は嫌われてる」と妬まれました。

半年後、熊取町立北小学校の行松俣子校長先生にトイレ掃除を体験いただいたところ、先生は大変感動され、「一緒にがんばりましょう」と、地元の学校を説いて回って下さいました。それから毎月学校で例会ができるようになり、この23年間で、泉州のほぼすべての学校のトイレをお借りできるようになりました。

多くの感動の話

2006年7月、長坂小学校のことです。PTAの方が二日酔いで来られたので心配していました。ところが、閉会式で女性先生が「毎朝

駅のトイレを掃除している母の口癖は、『掃除は自分のためにするもので、人のためではない』でした。私は今日やってみて、初めてその意味が分かりました」と、泣かれました。すると、会場全体が感動に包まれ、二

日酔いだった方も泣いていました。気持ちを通じたのです。なんて掃除はすごいのだろうと思いました。

貝塚第四中学校の津田ひとみさんは、トイレ掃除の感動を2006年「少年の主張」大阪大会で発表し、最優秀賞を受賞。この文章は、鍵山相談役が「致知」誌巻頭言で紹介し大変話題になりました。貝塚第四中学校は道徳のモデル校となりました。

泉佐野第三中学校では、田仲三夫先生がトイレ掃除で荒れた校風を立て直しました。このように、トイレ掃除を行った多くの学校で、言い尽く

せないほどの感動の話があります。

寺田先生の思い出

寺田先生作詩、行松校長先生作曲による「お掃除の歌」もできました。寺田先生に導かれて、掃除を23年間やってきました。

多くの学校でトイレ掃除をさせていたでいて、たくさんの子どもや人々とご縁ができ、その思い出は私にとつてかけがえのないものです。これも寺田先生のお陰と深く感謝しつつ、体の続く限り掃除を続けていきます。

(590-0403 大阪府泉南郡熊取町大久保中
2・28・11)



寺田一清先生に導かれて

イエローハット創業者 鍵山秀三郎

月刊「致知」2021年8月号編集

寺田一清先生は、私が歩むべき道を大きく拓いてくださいました。平成4年2月、寺田先生にお逢いするまでの私は、経済の世界の片隅で、細い道を手探りで歩んでおりました。その私の手をとって導いてくださり、歩む道は光明に照らされ、広く確かな道に変わってまいりました。

平成4年6月、守口市実践人の会にて話をするようにと、寺田先生からご下命を受けました。私は即座にご辞退しました。私は、社員の前でさえまとまった話をするのがなく、見知らぬ人様に話をするなど、「もつてのほか」だと思いました。

その後寺田先生は、何回も私に翻意を促されました。そこで私は、失敗

談でなければという条件でお受けしました。多くの失敗にも、正面から向き合ってきた小さな自信が下支えになっていました。

当日、司会の方が「今日の話は一度と聞けない話と紹介されたので、私は開口一番「今のご紹介は誤っています。二度と聞きたくない話と訂正させていただきます」と言って始めました。とにかく、冷汗をかきながら勤めさせていただきました。

寺田一清先生は、私の拙語を「凡事徹底」と題して、小冊子を作ってくださいました。私は昔から「凡事徹底」と唱えてきましたが、聞く耳を持つてくださる方は現れませんでした。その言葉が、寺田先生のおかげで、社会に通用するに至りました。「万事手抜き」の私が、いつの間にか「凡事徹底」の手本でもあるかのように思われるようになり、心中忸怩たる思いをしております。

寺田先生のお導きによる実践人の会をご縁にして、それ以後の私は、住む世界も考えも広がっていただくようになりました。

寺田一清先生には、不思議なご縁をいただきました。もし私が寺田先生とのご縁に恵まれていなければ、経済の世界の端で、行く末も定かでない細い道を歩み続けて生涯を閉じることになったと思います。寺田先生に、深く感謝いたします。

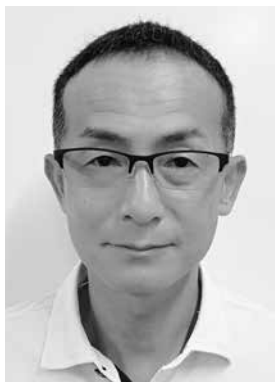


第3回泉州掃除に学ぶ会年次大会(2003.9.7)
前列左鍵山相談役、3人目寺田先生

教育と掃除

問題教師の私を変えた掃除

広島県高校教諭 村上 和弘



32歳の時に生徒に暴力をふるい、
辞職していたはずの私は、「掃除」に
出会って生き方が変わりました。

軟式テニスに打ち込んだ学生時代

1972年（昭和47）生まれの私は、
中学時代軟式テニス部で体育

の先生に憧れ、教職につきたいと思
うようになりました。1988
年、インターハイ入賞常連校の山
陽高校に入学。生来負けず嫌いの
私は、猛烈なスパルタによって、予
選団体戦で15年連続優勝、団体戦
でベスト8に貢献し、個人もラン
キング選手になりました。

「日本一になりたい」と日本体育
大学に入学したものの成績は低
迷、4年生のときに試合成績によ
る学費免除がなくなり、人生初の
挫折を味わいました。

母校の軟式テニス部監督に

卒業後教員の採用枠がなく、広
島市体育振興事業団に就職しま
した。テニスコートの管理に励ん
でいると、母校山陽高校の校長先
生に声をかけられました。軟式テ

ニス部は18年連続インターハイ出
場が途切れており、私は「もう一
度強くしたい。自分ならできる」
と、転職を決意しました。

1996年非常勤講師で就職、
軟式テニス部を担当すると、生
徒は練習に遅刻するし、部室で
は寝ていました。次期監督候補
でしたが、目立った選手実績が
なかったことから周囲は冷やや
かで、早く実績を出したいと焦る
ようになりました。どのように強
くするか：スパルタ指導を受け
てきた私には、力で抑え込む方
法しか思いつかず、厳しく臨みま
した。生徒は「村上先生に逆らう
と殴られるぞ」と言っていました。

暴力に訴える

同年12月全国優勝して自信を

持ち、保護者に「私は殴ります。しかし広島トップにします」と言っていました。翌年恩人の校長先生が退職すると、先輩に「私は生徒を集めることも有名大学に進学させることもできるが、あなたにできますか」と、生意気なことを言うようになっていました。

2001年に教諭になり、生徒指導主任、2003年体育クラス担任になりました。生徒欠席ゼロや多くの部活動の全国大会出場などの実績を上げたことで、さらに増長しました。

学校に寝泊まりし、娘がカレンダーにつけた私の帰宅日は年間13日。私は「家庭を犠牲にして働いている」などと、生徒への暴力を正当化していました。先生の中でも、次第に孤立していたことに

気がついていませんでした。そしてついに、全国選抜大会ベスト8になった2005年の夏、生徒を殴って鼓膜を破り、3週間の停職処分を受けたのです。あとで聞くと、理事会で私をかばう人はなく、懲戒免職寸前だったそうです。私はこのとき、いかに自分が周りに嫌われているかを知りました。32歳でした。

人生の転機

復職したものの監督は解任。これから体育教師としてどうすればよいのか、まったく分からなくなりしました。

さまようように本屋に寄ると、鍵山秀三郎著『ひとつ拾えばひとつだけきれいになる』が目にとまりました。そこには私の思いもし

ないことが書かれていました。それまでの自分は、勝つためには何をしても良い、結果がすべて、と考えていました。しかし本には「大事なものは結果ではなくプロセス、目の前のことを丁寧に取り組めること」とありました。衝撃を受けました。

わらにもすがる気持ちで、「この人に会ってみたい」と、2008年1月2日東京行き夜行バスに飛び乗りました。イエローハット本社では、掃除をしている社員さんに「トイレ掃除を教えてください」とお願いしました。藤田昭彦さんが長靴を出してこれ、私は教えられるまま無心で便器を磨きました。鍵山相談役は不在でしたが、応接室で藤田さん、阿部豊さん、白土光行さんに、悩みを話

しました。

白土さんは自宅に誘って下さり、「汗をかかれたでしょう。お風呂にどうぞ」と。奥さんが、時間に合わせてお風呂を焚いておられました。生徒に弱さを見せられないという薄っぺらなプライド、そして憧れの教職がいつのまにか勝つことだけが生徒の幸せだと信じて疑っていない……ここで私は自分の大きな間違いに気づきました。湯船の中で泣きました。そして心に期するものがありました。

トイレ掃除を始める

3日後、阿部さんから鍵山先生の講演が大阪であるとの連絡をいただきました。お会いした先生の第一印象は「普通のおじいちゃん」でした。本当にすごい人は謙虚

で、すれ違っても分からないような人だと思いました。

阿部さんから、広島掃除に学会を紹介されました。すぐに学校のトイレ掃除に参加し、とても感動し、会ったばかりの井辻栄輔会長と現役警察官の先川孝徳さんに、山陽高校での例会開催をお願いしました。それは2カ月後に実施されました。その後「自分を変えたい」と、早朝の学校トイレ掃除を始めました。

掃除をすると気持ち良く、自分の嫌なところが出なくなるように感じました。ところが、きれいにしたトイレを汚されることに腹が立つようになりました。「また軸がずれてきていないか。いいことをしてやっているという心になっていないか」と思いました。毎日毎日続けて



恩人阿部豊さん(中央)と(2019.8.13)

いるうちに、掃除が自分の先生になってくれると感じました。

ある不良生徒の更生

2011年、広島で知らない人はいない有名な不良生徒と保護者がいました。担当教員はノイローゼになり、学校はお手上げでしたので、私は生徒指導主任として手を挙げました。

ひとりで家庭訪問に行き、学校側の不手際を託びつつも、生徒の問題行動は直さねばならない

と話しました。すると父親は「わしに意見するのか」「わしに意見できるのは先川のおっさんだけじゃ！」と怒鳴りました。あの先川孝徳さんだ、と思いました。そこで掃除の話をする、「わかった。お前に任せる。こいつに毎朝掃除をさせる」と言ったのです。それからというもの、この不良生徒が腰骨を立てて授業を受けるようになり、早朝トイレ掃除も休むことなく出てきました。

この生徒は、卒業式で学校長賞を受賞し、両親は涙を流していました。一家の皆さんは、今掃除に学ぶ会の街頭清掃に参加してくれています。

掃除の学びを校風づくりに

2013年、総務部と掃除を任

され、掃除に学んだことを校風づくりに活かそうと思いました。生徒による掃除時間を設け、道具も毎日手入れします。新任教員研修にも掃除を取り入れました。彼らには悩みもあるのでしょうか、「村上先生がいつもトイレ掃除をしておられるので、私もがんばれます」と言ってくれました。今7人の先生が自主的に早朝掃除に参加しています。

ものを大切にしようと、チョークをケースに片づける習慣を学校で展開したり、式典はかけ声なしの「ノー号令」で、生徒の自覚による運営に変えました。昨今保護者から理不尽なクレームが多くなったようですが、すべて私が担当するようにしています。

昔は分かりませんでした、自

分が下座に下りると情報が集まり、問題が見えるようになった気がします。先生方からも頼りにされてやりがいを感じます。このような取り組みを重ねていくうちに、次第に校風が穏やかになってきたように感じます。生徒には、思いやりにあふれた日本を支えるリーダーになってほしいと日々念じています。



(739/1732 広島市安佐北区落合南8・21・11)

掃除から学んだ

「おかげさま」の心

新宿調理師専門学校 保科 達彦

「掃除」を授業に取り入れ、独特の教育をしている調理師学校。学風が大きく変わったこの10年間を、教師のお一人が振り返りました。（「便教会新聞」第163号編集）

*

2012年、上神田梅雄校長が便教会に参加しました。「学校は知識教育ではなく、心の教育が最も重要」との信念を持つ校長が、それを学内にどのように伝えるかと考えての参加でした。多くの感動を得て戻った校長は、教職員に対して本気で「掃除を授業にできないか」と提案しました。

それまでの掃除

それまでは、クラス持ち回りのいわゆる「放課後の掃除」でした。教室の机や黒板、トイレや廊下など、見える所がなんとなくキレイになれば終わり、使った雑巾やゴム手袋は雑に干してありました。ときには、遅刻学生に教室掃除をさせたり、当番をすっぱかした学生にグリーストラップ（調理で使った排水と油を分離する器材）を掃除させたり、「罰ゲーム」のようなものでした。

恥ずかしながら、教職員の掃除に対する意識も、生徒とさほど変わらなかったと思います。私を含む教職員は、校長提案を受け入れたフリをしていました。

校長が特に強調したのが、トイレ掃除でした。「便器を素手で磨

く境地は、体験した者にしかわからない」職員会議での校長の発言は、それまでのゆるゆるの教職員には、かなりの衝撃であったと思います。「調理師学校が素手なんておかしい」、「感染症になったらどうするんだ」など、否定的な意見が多く挙がりました。要は、できない理由です。

その後も、実にいろいろなことがあります。かなりの時間を要しましたが、一人また一人とトイレ掃除に取り組む者が出てくると、一気に全体の意識が変わったように思います。

かくいう私も恐怖すら感じていたのですが、「家のトイレ掃除では手袋なんか使ったことないぞ」と思い直して勇気を振り絞り、ある時に手を突っ込んで掃除をして

みました。そのときの心境は、今も鮮明に覚えています。

掃除の授業開始

教職員の意識が少しずつ変わっていく中、2016年いよいよ掃除の授業が始まりました。まずは学内からでした。校長が便教会総会に参加して4年が経過していました。

意識転換のさ中にある教職員が、学生にどのように伝えるか、とても頭を悩ませました。初年度は、掃除のやり方や効率的な進め方などが中心でした。掃除をする意義や到達目標などについての話は、あまりできなかったこともあり、学生たちから反発がありました。その度に、意見や提案をみなで話し合い、少しずつ改良して来



学校の階段の掃除

ました。

多かった文句は、「ロッカー室で着替えている先輩が邪魔で掃除できない」「掃除中にトイレを使われてムカついた」などでした。気持ちちは理解しましたが、これは「掃除してやっている」の気持ちから出ているように思いました。

「お互いさまだね」と声をかけながら学生をなだめていました。

特にトイレについての文句が多く、教職員でも協議し、「清掃中につきご迷惑をお掛け致します」の札を入口の扉に掲示し、お互いに気を遣いましょうということにしました。

街頭清掃を始める

2018年に、街頭清掃が授業として始まりました。朝7時15分学校に集合し、学校周辺のごみ拾いや植え込みを整えるもので、学生を数名単位に分け、新宿の街に出ました。

通勤の人々は、私たちを邪魔するように、そして不思議なものを見るような目で、通り過ぎていきました。学生たちは、ごみや作業に集

中して、通勤する人たちは見えていないようでした。しかし予想通り、文句を言い始めました。

「通勤する人が邪魔でゴミが拾えなかった」「目の前でたばこを捨てられてムカついた」などです。学内の掃除と同じでした。この時、私は「お互いさまだね」と言えませんでした。学内なら生徒同士



学校前のグレーチング磨き

の問題ですが、街となるとうまく表現できないのです。

掃除の授業2年、この時私は掃除の本質を理解していないことを痛感しました。掃除をするとは、「お互いさま」ではなかったのです。掃除の本質を伝えなければ、また同じことになるだろう——考える日が続きました。

私の意識転換

その年の夏、一つの答えが見つかりました。「ありがとう築地市場！トイレ掃除大会」です。豊洲移転が決まった築地市場ですが、これまでの感謝をこめて場内のトイレを掃除する大会でした。食を仕事とする者は、必ずお世話になる築地市場です。昼食のカレー準備を含めた140名が学校あげ

て参加しました。

私は実は、なくなる市場を掃除する意義は何か、そしてどのくらい汚いトイレだろうかなどと、疑問と雑念だらけでした。しかしいざその日、気づけば腕を金属製大便器の奥まで突っ込んで、ナイロンたわしで磨き上げていました。そして、やりたくないという思いが先行していた私が、楽しくトイレを磨いているのです。自身の変化を感じました。

次第に、私の心に変化が起きてきました。長年役目を果たしてくれたトイレに対してありがとう、学生たちのフレッシュな気持ちにありがとう、大会を開催してくれた皆さんにありがとうなど、たくさんの「ありがとう」で、私の心は満たされていったのです。市場が



築地市場！トイレ掃除大会 (2019.5.19)
140名参加 (掃除120、カレー準備20)

「おかげさま授業」

今年、掃除の授業は「おかげさま授業」という名前に変わりました。掃除に限らず、私たちの生活は誰かのおかげで成り立っている、と感ずるためにつけられたネーミングです。

授業は、掃除のやり方ではなく、物事への取り組み姿勢や、自分との向き合い方などを扱っています。学生たちにも少しずつ変化が現れています。トイレ掃除の際に「迷惑をおかけします」の札が、使われなくなったのです。互いに気を遣う意識が芽生えた結果であろうと思います。またクレームも少なくなり、「ロッカーで先輩が着替えていたので、別の所から掃除を始めました」など、「邪魔」という表現を使わない生徒も増え

ました。

掃除は、お互いさまではなく「おかげさま」である。そう気がついてからは、私自身掃除に学ぶという謙虚な姿勢を忘れることがなくなりました。さらに、掃除は「キレイにすること」ではなく、「みんなが使いやすいよう考えること」であると感じています。

私の次のステップは、「掃除は思いやりである」ということです。この気持ちで、授業などに邁進していこうと思います。



(新宿調理師専門学校)

160
0023 新宿区西新宿6-5-3

なくなるかなどには関係なく、今この時この場に、トイレと、道具と、人と、自分が、掃除という取り組みで成り立っていると感ずいた瞬間でした。一人では、決してこのようなことに気づくことはできなかつただろうと思いました。

SDGsと経営

コロナ禍での社会貢献活動 「ひとり掃除」の取り組み

神奈川県 川野 士郎

危機的経営状態にあった会社が、「掃除」をして立ち直った話は多くあります。それは、個人が掃除で「自分磨き」をするのと同じことが、会社で起きているものと思われまます。お店から大企業まで、こういった会社の取り組みを取り上げるコーナーです。

「清風掃々」第37号「ひとり掃除の喜び」に出た川野士郎さんの職場の活動の例です。始めたばかりですが、コロナ禍での掃除の取り組みとして参考になると思います。(株)リコーの生産部門に所

属する川野さんに聞きました。

*

どんな提案をしたのですか

コロナ禍で、多人数による活動が難しくなりました。在宅勤務が増えるなか、私は1人で行う公共の場の清掃を考えました。職場で提案し10人の仲間に賛同いただき、部署長の承認を経て、昨年11月から始めました。それ以前は、自宅周辺を掃除する個人活動は、リコーグループ(以下「リコー」)の活動としては認められていませんでしたが、組織で呼びかけ、それに対応して行う活動は、会社の活動として認められることになりました。

具体的にどのようなものですか

事業所周辺の清掃や地域でのひとり掃除活動を、「地域美化活

動」として会社に登録しました。職場では、事業所周辺を昼休みの20分程度ゴミ拾いなどの清掃活動をしています。さらにそのうちの2名は、地域での一人掃除を行っています。

ひとり掃除の内容は、道路などのごみ拾い、草取り、落葉掃き、植栽の剪定、路上の砂利、側溝の泥やごみの除去などです。

この結果、①地域の人々の心の荒みをなくすことや治安維持②ポリ袋などのプラスチックを



生き物が食べて死ぬことを防止する生物多様性保全に貢献することを期待しています。貢献するSDGsの目標は、11「住み続けられるまちづくりを」です。

大企業でこのような活動を始めるには、いろいろとあったのでは

昨年リコーは「第2回日経SDGs経営大賞」を頂くことができました。会社「社会貢献活動に理解がある」ということは大きいです。また、生産部門が大切にしている活動項目の一つに「5Sの徹底」があり、物のおき方から清掃や身だしなみまで、最適な職場環境をつくる必要性が、社内教育されています。そうした土壌があったので、職場や上司の理解を得ることはまったく難しいものではありませんでした。

活動を今後どう進めたいですか

「社会貢献活動を求められても、コロナ禍で在宅勤務が多く、活動が難しい」といった社員の声が多くありました。そこで、「組織で呼びかけ、毎朝自宅周辺を清掃しては」と提案できるように became. したことは、非常にありがたいです。今後リコーの生産拠点にこの「ひとり掃除」の取り組みをお伝えし、そこで展開してもらって、そこが「きれいで暮らしやすい、快適な地域」として注目され、さらにこの活動が他の企業にも広がってほしいと願っております。

これを実践することで個人が変わり、組織が変わり、社会が変わる小さなきっかけになればうれしいです。



【資料】リコーと社会貢献活動

売上高1兆6,820億円、従業員81,184人(21年3月期)。1936年実業家市村清が創業、「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という「三愛精神」は有名。環境経営に力を入れ、社会貢献活動に熱心で、昨年「第2回日経SDGs経営大賞」を受賞。社内の「意志と責任」を持った社会貢献活動には、世界の事業所からの815件が登録され、社員25,888人が参加する。

(215-0007 川崎市麻生区向原2-26-7-706)

ひとり掃除の喜び

夢兄弟を慈しむ夫婦夢拾い

夢拾い宮城支部

日下 修・しずえ



私たち夫婦は、9年前に週1回地域のゴミ拾いを始め、5年前からは毎回道路沿いをトラックで拾っています。9月12日が第400回でした。

妻と始めた地域奉仕

父が亡くなった2012年(平

成24)、宮城県倫理法人会地域奉仕部長を拝命し、週末は各地の早朝ゴミ拾いに出かけました。12月23日、国道の交差点周辺のゴミ拾いを思い立ちました。妻を誘い、寒く真つ暗な早朝、街路灯を頼りに拾い歩きました。車を通ると全く気づきませんでした。その多さに驚きました。

ゴミ袋を前に記念写真、二人とも笑顔でした。次の日曜日にも二人で行きました。それから毎週日曜日早朝は、ゴミ拾いが夫婦の暗黙の活動になりました。

少しずつ範囲を広げ、積雪の朝は雪かきをし、夏は路肩の草をむしり、堆土をスコップで一輪車に積み、わが家の田んぼに運びました。路肩は長く、時間がかかりました。畑仕事をしているので、

苦になりません。交差点は少しづつきれいになり、夫婦の呼吸も合っていました。地域の人が起きる前に終えます。

「夢拾い」との出逢い

1995年(平成7)、松下政経塾のセミナーで東広島の上野和浩様と同室になり、その後複写はがきで交流しました。上野様から「夢拾い五周年」に誘われ、2015年7月、20年ぶりに再会しました。鍵山秀三郎様も参加され緊張してお会いました。

「夢拾い」では、誓いの唱和に始まり、グレーチングや植栽などを徹底的にきれいにし、最後に道具や空缶などを洗い分別し、潰します。参加者の生き生きした感想と爽やかな笑顔が心に残りました。

(「清風掃々」第38号)



「夢拾い五周年」東広島市 (2015.7.4)

見たこともない大量の かわいそうな「夢兄弟」

宮城に戻り、夢拾い宮城支部として活動を始めました。歩いてゴミ拾いをしていましたが、翌2016年12月18日、初めて三陸道登米インターにトラックで行くと、見たこともないほどの大量の空き缶などが落ちていました。泥

にまみれ、風雨に晒され、車に轢かれ、見向きもされません。そんなゴミに憐憫の情を感じ、そして捨てた人間に代わって懺悔の気持ちが起こき、ゴミを「夢兄弟」と呼ぶようになりました。その姿が愛おしい兄弟に見えたのです。

仕事などで運転中に見つけると、週末に拾いに行きます。夢兄弟はいつまでもそこにあります。緑石の陰、路肩の草むら、田んぼ

の畔に隠れている夢兄弟を見つける楽しみがあります。車から投げ捨てるに都合なのか、広い農道にはいつもあります。食い散らかしたゴミが散乱していると心が荒みます。

私の恩返し

約2時間、25km走行はいつものことです。拾う範囲も、隣の栗

原市、大崎市などへ広がっています。拾った夢兄弟は、野菜コンテナ3〜4個分になり、洗って分別し、資源ゴミとして出します。

倫理法人会の仲間からは、「生活道路をきれいにしてもらいありがとうございます」（登米市はNHK朝ドラ「おかえりモネ」のロケ地）観光客も気持ち良く見学されるでしょう」と。

東広島などの夢拾いの皆様から勇気をもらい、傍で支えてくれる妻がいればこそ続けられます。夢兄弟が道路からなくなれば、ドライバーの心は穏やかになり、交通安全に繋がります。美しい農村にゴミは似合いません。夢兄弟を慈しむ夢拾いを、地域への恩返しとして続けます。

(987-0621 登米市中田町室江黒沼大海崎2)

私の掃除履歴書

「きれい好き」が

人生を変えた(2)

多賀城掃除に学ぶ会 小畑 貞雄

2011.3.11 東日本大震災

私は当時、東北電力の送迎バスの運転手をしており、発電所の緊急避難所に逃れて、九死に一生を得ました。そこから、津波で愛車が流されるのを見ました。その後自宅にもどると、家財道具は流され、電話は通じず、ようやく2日後に家族全員の無事がわかりました。しかし、亡くなったり行方不明の方が多くおられ、想像をはるかにこえる被害であることがわかりました。自分たちは助かった

と、安心しているわけにはいきませんでした。

市内いたる所が瓦礫の山でした。大きな瓦礫は重機を使って取り除くしかありませんが、個人でできることは、やはり掃除だと考えました。そのとき、鍵山相談役から「何か必要なものはありますか」という手紙が届きました。自分のような者にも気を配ってくださる鍵山相談役には、本当に感謝しました。

強い使命感でトイレに向かう

(月刊『致知』2011.9月号抜粋)

「私は即座に掃除道具一式をお願いしました。数日後の4月16日、掃除道具を携えて向かった先は、7年前から週一回トイレ掃除に通い続けた多賀城市総合体育



(2011年4月28日付河北新報)

館。そこは避難所として、およそ500名の被災者が不自由な生活之余儀なくされていました。私も被災者の一人として、不便な生活を強いられました。どこか冷静に受け止める自分がいました。

避難所で生活している方々は、汚いトイレでは気持ちが落ち着かないのではないかと心配しました。私は強い使命感を感じて、得た答えは「トイレを掃除する」ことでした。以来、平日は仕事が終

わったあとの4時間、そして週末は午前の昼にかけて、毎日トイレ掃除をさせていただきました」

(写真)

避難所では、私のトイレ掃除が終わるのを待って並ぶ人もおり、やはりみんなきれいなところで用を足したいですね。多くのボランティアの方が来られましたが、残念ながらトイレ掃除と一緒にしますという人は一人もいませんでした。

市役所の方が、私の避難所の掃除を見て、「掃除はいいなあ。やってみたい。役所の人間にもさせたいので、協力してもらえませんか」と、言われました。熱心に言われるので、第2・第4土曜日に一緒に掃除を始めました。いろんな方が入れ替わり立ち替わり

来られましたが、そのうち言い出した人も来なくなり、2年半で全滅しました。(笑)

私は、朝4時にゴミ拾いをし、5時からトイレ掃除、それから仕事に行きます。雨が降ろうと熱があらうと例外なし。一人でやります。誰も何も言いませんし、私も何とも思いません。避難所生活が続く中、他の避難所では感染症が起きましたが、この体育館では感染症の発生はありませんでした。10月末に避難所が閉鎖されるまで、一日も欠かさず続けました。

多賀城掃除に学ぶ会の発足

実は私は、みんなをまとめていく物心両面の自信がなくて、ずっと個人的に掃除をしていました。ところが、2006年(平成18)

日本を美しくする会の、仙台での第6回全国大会のときに、「精華堂あられ総本舗」清水精二社長にお逢いしたことが転機になりました。

社長は私に、「(掃除に学ぶ会は)やりたい人がつくればよい」とアドバイスされました。私は、やるかやらないかは「自分が決めるのだ」と思いました。それで震災2年前の2009年、私ひとりの「多賀城掃除に学ぶ会」を設立しました。



結局15年間で約2千回、ひとりで掃除をしました。大雪でも氷点下でも、掃除を嫌になったり止めようと思ったことは一度もありません。そしてありがたいことに、群馬県みどり市の松崎靖さんや伊東市の白鳥宏明さんなどのご縁で、全国に知友が広がりました。

心磨きの掃除

2011年10月、「震災後の地域を良くしたい」と、勉強会仲間の沼田勝雄さん、吉野潤一さんと私の3人が1万円ずつ出して道具を買い、「仙台を美しくする会」を立ち上げました。新宿歌舞伎町のやり方で、毎月第3日曜日の6時から1時間半、仙台市内を掃除します。

約10名の内の数名が、「多賀城掃除に学ぶ会」の活動にも加わるようになりました。仙台市の小学教師村上幸宏先生もその一人です。多人数になると作業ははかどりますし、とてもありがたい、みんながにこにこしているのが嬉しいです。一方では責任も感じるようになりました。

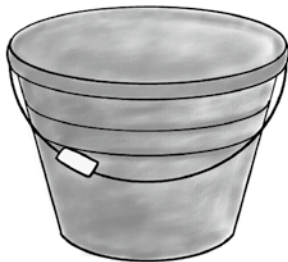
2016年(60歳)から、多賀城市役所で市長の運転手を務めています。このコロナ禍でも役所の人と一緒にトイレ掃除を続けます。

掃除の原点は心みがきであり、これを仕事や人生に活かすことが大事だと思っています。

「生きる糧」の掃除

日本善行会から「令和2年度善

行表彰」を受賞しました。少しでも世の中のために役立っているのであれば、うれしいです。ただ私は、ボランティアはしてあげる、心みがきはさせていただくと考えており、しかもトイレ掃除のプロではなく、心みがきのプロになりたいと思っています。25年間一心不乱に取り組んできたトイレ掃除は、いつしか私の「生きる糧」となりました。



「人間の一生」

森信三先生推奨の、「人間の一生」という文章が大好きです。長いですが全文を引用します。

「職業に上下もなければ貴賤もない。世のため人のために役立つことなら、何をしようと自由である。しかし、どうせやるなら

覚悟を決めて十年やる。すると二十からでも三十までには一仕事できるものである。それから十年本気でやる。すると四十までに頭をあげるものだが、それでいい気にならずにまた十年頑張る。すると、五十までには群を抜く。

しかし五十の声をきいた時には、大抵のものが息を抜くが、それがいけない。これからが仕上げだと、新しい気持ちでまた十年頑張る。すると六十ともなれば、

もう相当に実を結ぶだろう。だが、月並みの人間はこの辺で楽隠居がしたくなるが、それから十年頑張る。すると、七十の祝いは盛んにやつてもらえるだろう。しかし、それからまた、十年頑張る。するとこのコースが一生で一番面白い(引用終)

「もう一瞬たりとも怠けることなく、人生一気に走り抜けよう、私はそう心に誓いました。この誓いこそがどんな場面にあっても、私に挑戦する勇気を与えてくれたのです」(前出月刊「致知」)

*

そんな小畑さんについて、仲間が話します。

小学校教師の村上幸宏先生「小畑さんと一緒に掃除をしていると、いろいろなことに気付かされ

ます。いつも新しい学びがあるんです」。

守田理恵さん「あのころ私は体調もどん底でしたが、小畑さんと出逢って、掃除と出会って、人生が変わりました。ありがたいご縁を頂いたことを、トイレの神様に感謝しています」。

(985・0832 多賀城市大代1・13・3)



2021.5.22 多賀城廃寺跡
(前列左から、守田理恵、筆者、村上幸宏)

佳書抄録

「ひたすら鍵山掃除道」(1)

阿部 豊・講演録

私は、昭和13年愛知県新城市生まれ、81歳です。地元の高校を卒業し、東海銀行に就職しました。東京本部7年、厚木支店次長などを経て、本部総務の株主総会担当となりました。ヤクザな仕事で自分には荷が重いと上司に申告したため、接待用倶楽部に出向したのです。43歳の時でした。ゴルフや水泳に熱中、「小人閑居すれば不善を為す」ですね。

7年在籍したころ、先輩が社長をしていたノンバンクに転職しましたが、バブルが弾け倒産しまし

た。私は人員整理でカラオケ店に出され、新規出店の店長候補で朝まで勤めました。3か月経ったころ、家内がストレスで倒れました。そこで、まともな仕事に就こうと、銀行を退職し、住宅ローン保証会社に拾ってもらいました。53歳の時でした。

イエローハットに入社

銀行の先輩二宮洋さんがイエローハットの社長になられ、誘われて平成13年63歳で入社しました。鍵山相談役から、トイレ掃除をご指導頂きました。やる気があるのかなどご覧になっていたと思いますが、土日も関係なくやっていたら、ある日「阿部さん、トイレはもういいから、一緒に外掃除をしましょう」とお誘いがありました。

それからマンツーマンで指導

いただきました。道路においてあるゴミ袋の中まで見て、分別されていない袋は中を広げて、燃えるゴミや、ビン、缶などを仕分けして、綺麗におき直すのです。毎朝50〜60人で、山手通りと、目黒川沿い、大体2kmを掃除しました。草取りも教えてもらいました。相談役の草取りは見事です。根っこを綺麗に揃えて並べるのです。道路の雑草は、ゴミがそこに溜まりますから、徹底的に取りました。

「日本を美しくする会事務局へ

3年4か月総務を担当後、平成17年「日本を美しくする会」の事務局担当になりました。当時、任意団体でしたので、2年後にNPO法人、更に2年9か月後に認定NPO法人と、矢継ぎ早に認証を取りました。また、文科省後援も取

得しました。イエローハットの業績が悪くなり、本社ビルも売却となり、池尻のマンションに引っ越ししました。相談役のスケジュール管理、講演準備、「日本を美しくする会」事務局や会計業務もあり益々忙しくなりました。

菅刈公園のお掃除

元本社裏の目黒川沿いに菅刈公園があり、本社移転後も相談役と2人で毎日掃除を続けました。落ち葉を木枠に入れ、生ごみを混ぜて堆肥を作りました。全国からの参加者があり、「お掃除のメッカ」と言われるようになりました。

鍵山相談役が病に倒れる

平成27年10月16日、脑梗塞を発病されました。出張後、事務所のお席に着かれて間もなく、「阿部さん、ちょっと手が痺れる」と言われ

たのです。これは大変だと、救急車を呼びました。車内で酸素マスクをしたまま、「この救急車は何処から来たのか聞いてほしい」と仰るのです。目黒の消防署だと聞いて、後でお礼に行きました。相談役は、こんな状態でも、そこまで氣を遣うお方です。

鍵山相談役のエピソード

相談役は、結婚して入ったアパートで毎朝植木手入れとお掃除をされたことから、家主様が所有のビルを、驚くばかりの値段でお売り頂きました。また、昭和36年の創業時、自転車1台で行商されていた時、元勤務会社に嫌がらせを受けて、商品の仕入れが出来なかったのです。そのとき、京都の個人商店が扱っていたハンドルカバーに出会い、夜の赤坂や銀座で客待ちをする運

転手さんに見本を見せながら売り歩いたそうです。ハンドルカバーとビルの購入が、創業時の一番の助けになったと聞きます。いつまでもご恩を大切にされて、お二方には、時々お届け物をされています。

物流センターの障害者の人たちは、相談役がお見えになると、抱きついて喜びます。パートの方々にも年に一回は慰労会をされました。誰も分け隔てなく、特に弱者に対する配慮は素晴らしいです。ただし、外と内は違いますよ。内に対しては厳しい。そうでなければ、上場会社は出来ませんよ。(つづく)



人生の師 鍵山相談役と
(2010年ころ)

鍵山秀三郎「一日一話」

PHP 研究所

鍵山秀三郎(著)

亀井民治(編)

ひとつ拾えば、ひとつだけ

きれいになる

私の思いを込めた言葉です。大切なことは、一步を踏み出す勇氣。一步を踏み出さなければ、前に進むことができません。具体的には、足元のゴミを拾う実践から始めることです。ゴミを拾う人は、ゴミを捨てないものです。足元のゴミ一つ拾えぬ人間に何ができません。(日付：ー)

掃除を始めた理由

「心の荒みは諸悪の根源」

会社を創業したころ、私たちの業界は大変荒んでおりました。当然、仕事をしている社員の心も荒んでまいります。そこで、この荒んだ社員的心を穏やかにするためにはどうしたらいいか。熟慮の末始めたのが掃除でした。この取り組みは間違っていない。今もそう確信しております。(1・9)

掃除を始めたころの社内

最初は私一人を始めました。そのころ、私が掃除をし

ていても、社員は感心するどころか、逆でした。私がトイレ掃除をしている横で用を足していく社員や、階段を拭いている私の手を飛び越えていく社員ばかりでした。「掃除なんかしてもムダ。もっと売上を上げて、儲けることが大事」という考え方が、社内の大勢を占めていたように思います。

(1・10)

掃除の歴史

最初の10年間は、ほとんど私だけで掃除をしていました。10年過ぎる頃から、一人

二人と手伝ってくれる社員が現われました。20年になるころは、仕入れ先やお客様から評価されるようになりました。仕事に直接関係ない方々が、掃除研修に来社されるようになりました。30年過ぎるころから日本全国に「掃除に学ぶ会」ができるようになりしました。(1・11)

ホテルの利用法

宿泊するホテルには何でも揃っておりませんが、私はほとんど使いません。理由は、一回使っただけでゴミになったり、そのたびに洗

濯をしなければならないからです。資源がムダになり、ゴミが増えるだけだからです。私はできるだけ、持参した自分のものを使うように心がけております。備えてあるもので使うのは、タオル一枚とバスマットくらいです。(2・5)

ホテルの備品

ホテル代には、石鹸やシャンプーやカミソリ等の代金が含まれています。だからと言って全部使わなければ損だ、という考え方が人間を卑しくします。むしろ、使わず

に全部残しておいた方が心が豊かになるものです。部屋の掃除に来た人も、その分樂ができて喜ぶでしょう。こういう考え方を持つ人が多くなると、世の中はどんどん良くなります。(2・11)



(絵・上村 慎彦^{しんひこ})

ちいき通信

■東北 郡山掃除に学ぶ会

郡山出身の俳優鈴木文健さん出演の、福島中央テレビ「ブンケン歩いてゴミ拾い」で、コラボ企画が実現しました。6月9日会津磐梯山からのそよ風を受けながら、猪苗代湖周辺で約2時間、



プラゴミやキャンプの放置ゴミなどを拾いました。この様子はYouTube「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅 #66

猪苗代湖をきれいにするぞ」で見ることが出来ます。（中野俊昭）

■関東ブロック ZOOM講演会

新型コロナウイルスの影響で学校での「掃除に学ぶ会」を開けず、ZOOM講演会を開くことになりました。5月30日、便教会の高野修滋先生に、「掃除から学んだこと」のご講演をいただき、全国から68人の参加がありました。しばらくはZOOMを使った活動になると思います。

（間仲昶充）

■メイク松戸ビューティフル

千葉県松戸市で、「松戸駅前ポイ捨て防止キャンペーン清掃」を月2回行っています。中高生と掃除をする夏休みの「レッツ体験」、



ゴミの調査を行う「ポイ捨てウォッチング」、桜祭り・花火大会・松戸まつりでのポイ

捨て禁止などを展開しています。コロナ禍では、各自ひとり掃除をして、オンラインを使って交流を深めています。植樹運動、百名山清掃・里山を守る活動、SDGsの学習もしています。（佐藤誠）

■北陸 国際ビジネス学院

金沢と福井で専門学校を運営し、挨拶・掃除・時間の約束を習慣化させる教育を重視して

います。教職員は、朝のトイレ掃除を20年近く実践してきました。8月48名が、市内8カ所の公園のトイレを2時間掃除しました。みんな次第に没頭し、最後には達成感で笑顔に変わる姿に感動しました。（梶聡司）

■中部 第21回便教会総会

8月28、29日、オイスカ中部研修センターで開催。講演と掃除実習に、オイスカの職員さんも加わり県内外の30人以上が、熱心に学びました。コロナ禍のなか、開催賛否の声が届きました。阿久悠さんは「続ける」について、継続のために新しい方法を考えることが一つの刺激になる、と仰っています。掃除は暗夜の一灯。今、掃除の意義を深く考える時

ではないでしょうか？ 掃除には「気づき」がいっぱいです。掃除は魂の成長の糧となつていきます。第22回を計画中であり、多くの皆様の参加をお待ちします。

（高野修滋）

■中部 伊勢神宮早朝清掃

伊勢神宮参拝者のおもてなしとして、「きれいな街に来ていただく」と、2005年10月3日「早朝清掃活動」を2名で立ち上げ、現在54名います。毎週日曜日6時20分、約20人が吹上地区を出発、伊勢路の玄関口J.R伊勢市駅から外宮参道を通り、外宮広場までの経路です。トンゴとレジ袋を手には「移動式井戸端会議」をしながら、ゴミを拾っていきま

す。掃除後のお茶会、ランチ会、

誕生会等も楽しんでおり、掃除を通して地元の皆さんが仲良くなります。（山本優）

■中部 中部ブロック大会

7月31日、知立市の和食酒家「縁」でZOOMを併用し、ブロック会議を実施。大正村・美濃加茂・豊橋・豊田・三重・小布施・西三河の会から24名が参加しました。「鍵山相談役からの言葉」などを拝聴した後、回転寿司39店舗を展開する新美文二さんより、「株コムライン掃除に学ぶ会」の実践を学びました。田中顧問は「コロナ禍で学校掃除が難しい。道徳の授業で掃除の話をしてはどうか」と提案されました。ブロック全県からの参加があるとういと思つています。（杉浦三代枝）

■関西 西宮掃除に学ぶ会

7月、「福男選び」で有名な「えべっさん」こと西宮神社のトイレ掃除を再



レ掃除を再開。21年目第228回でした。代表石井信次さん、前代表佐藤弘一さんを中心

に、毎月第3日曜日の8～10時、学生を含む約20名が、明るく元気に感性を磨いています。

第4水曜日は、約10名が出勤前の6～7時、神戸三宮街頭清掃を行なっています。掃除後の皆さんの笑顔が素敵です。（堀りか）

■四国 愛媛便教会

今年度、世話人の眞鍋先生と

私越智に異動がありました。眞鍋先生の新居浜小学校では、教頭先生が毎回トイレ掃除に参加されるせいか、子どもたちの取り組み姿勢が変わってきたそうです。見るもの接するものが綺麗だと、人はおのずと同じ心境になっていくのだと実感します。

私が勤める新居浜市教育委員会では業者が掃除をされるため、私は朝清掃ができなくなり、やむなく職場で気づいたことを改善していました。すると、業者の理解を得て、5か月ぶりにトイレを磨くことができました。（越智誠司）

■九州 大分掃除に学ぶ会

鍵山相談役の生き方に衝撃を受け、2005年大分掃除に学ぶ会に入りました。70歳で私が住む

日出町（ひじまち）の臨時職員になり、公園のトイレ掃除を始めて7年目です。3年前「大分掃除に学ぶ会」の4名が日出町で月1回トイレ掃除をされ、私が日々維持させていただいています。昨年町内の清掃活動が始まり、毎週日曜日8時から約30名で、町内と海岸を掃除します。掃除を通じて町の皆さんが仲良くなりとても嬉しいです。（中西達己）

■九州 宮崎掃除に学ぶ会

昨年11月15日、校長先生のご理解を得て、コロナ対策をして学校のトイレ掃除をしました。皆さんの笑顔を見て、トイレ掃除の素晴らしさを実感しました。現在は、毎月1回ひとりで公園のトイレ掃除を行い、ゲートボールに来



をしています。今こそ、「ひとり掃除」が必要かと思えます。ひとりが綺麗を広げ、大きな輪になって行くことを願っています。

(奥野幸子)

■沖縄 沖縄中部掃除に学ぶ会

代表世話人の川畑文夫さんは越来(ごえく)公民館で面白い取り組みをしています。2017年新築の当館のトイレが「掃除のみで5年後も新築同様きれいな状

られる方に喜んでいただいています。勤務先でも昼休みに周辺のゴミ拾いや、

トイレ掃除

態を保てるのか」を検証するため、毎月1回掃除に学ぶ会メンバーと子どもたちでトイレ掃除をしているのです。来年5年目、結果が楽しみです。(佐和田健二)

■日台オンライン交流会

9月17日、2年間途絶えていた交流を維持しようと、台湾側からの提案で開かれました。日本を美しくする会から11名、台湾の戴理事長、徐創会理事長、日本の利会長の挨拶の後、全員が自己紹介を行いました。その後、日台の活動を相互に紹介し、最後にコロナ禍での影響について意見交換しました。台湾の年次大会には、過去毎年日本から百人レベルが参加し、交流を温めてきただけに、早く往来が可能

になって掃除をしたいとの思いに充ちた2時間でした。

(台湾美化協会 阮 偉倫)

■関東 お掃除デビュー報告

今年6月、中学の級友川野士郎氏が行う「羽田街道ひとり掃除」に、お手伝いでも参加しました。そのあと靖國神社・新国立競技場周辺・新宿駅東口周辺など7回参加しました。それほどでもないように見えても、やり始めると、空缶・ペットボトルなどたくさんのごみを発見し、いつも驚かされます。みなで掃除をすると風景が一変し、達成感を感じ、そして自らの心も洗われていることに感動します。靖國神社のトイレ掃除にも取り組みたいと考えています。

(池田啓一郎)

NPOとは

認定NPO法人

日本を美しくする会

NPOとはどんな団体ですか

正式には「非営利活動法人」といい、「営利を目的としない社会貢献活動を行う法人」とされます。収益事業を行うことは認められていますが、収益は社会貢献活動に充てます。「NPO法人」(一般)と所轄庁に認定された「認定NPO法人」とあります。

どんな活動をしていますか

社会教育の推進、街づくり推進など、法にある20の分野に該当し、しかも社会的利益に寄与することを目的とします。当会は「美しい街づくりと学校や公共施設



の美化・保全のための清掃指導援助事業」などを、定款に掲げています。

全国にどのくらいありますか

「NPO法人」(一般)は、全国に50841法人、認定NPO法人は、1170法人あります。(2021・7月末)認定NPO法人は、「広く市民からの支援を受けている」ための認定基準があるためにハードルが高く、NPO法人の2・3%にしか当たりません。

NPO法人になるメリットは?

会員側としては、直接参加や

寄付により活動を支援するといふ、社会貢献への参画意識や精神が挙げられます。直接メリットは、「確定申告」の際、寄付による所得税の控除を受けられ、「認定NPO法人」の場合、「NPO法人」の数倍になることが最大のメリットです。

会側としては、広く市民や行政から社会的認知が受けられるということがあります。

活動資金はどうしていますか

認定NPO法人の財源は、「事業収益」67・9%、「寄付金」15・9%、「補助金・助成金」11・6%、「会費」3・5%とされます(内閣府)。当会の場合、ほとんど事業はしておらず、賛助会員様からの「寄付」に全面的に頼っております。そして各地の活動は多くの

ボランティアスタッフのご奉仕に頼っており、「清風掃々」は現在すべて無償配付しております。

賛助会員について：

「趣旨に賛同して、入会・登録する会員。運営に直接関与せず、賛助会費によって組織を支援する」と、辞書にあります。

この賛助会費が「寄付」である条件は、「任意性があり、直接の反対給付がないこと」、すなわち寄付側が「出すか出さないか自由に決められ、かつ対価を渡さない」ということです。

当会の場合、賛助会費は「寄付」扱いが認められており、したがって当会の運営は実質「寄付100%」に近い状態です。

当会は、今後どのように活動していくのか

○情報公開と趣旨の広報強化

NPO制度は、所轄庁の監督をゆるくし、その分「情報公開を通じて市民の監視を前提とする」とあり、事業報告書などは一般に公開する義務があります。当会は、今後皆さまによりわかりやすい形で情報公開します。

現在、正会員113名、賛助会員法人139、個人365名ですが（20年度末）、広報を強化し、活動趣旨を多くの方にお伝えし、賛助いただく方の増加を図りたいと考えています。

○SDGsとの連携

今や環境問題は世界の重大関心事であり、2015年国連が採択した「持続可能な開発目標」『SDGs』は、世界規模で進められています。日本でも、政府に

「SDGs推進本部」が設置され、「学習指導要領」により2020年度から学校教育に組み込まれ、小学生から教えられています。

当会の活動は、このSDGs精神とピタリ一致するもので、これを30年以上やってきたと考えております。当会は「自分磨き」としての掃除を旨としてきましたが、併行してSDGs活動に積極的に参画し、社会に貢献したいと思います。



日本を美しくする会 本部世話人(理事)名簿

	役職(担当)	氏名	会社名	〒	住所	電話	FAX
理事	会長	利 哲雄	日本企画 (株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
理事	副会長	白鳥 宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
理事	副会長・事務長	千種 敏夫	(有)エムシエス設計	194-0043	東京都町田市成瀬台2-30-14-C303	042-739-1926	042-739-1927
理事	財務担当部長	塩島 久	クリンテックシオガイブル本本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
理事	広報担当部長	中島 セイジ	(株)クオーターパップ	111-0024	東京都台東区今戸1-2-10 JKビル1F	03-6802-4788	03-6802-4789
理事	北海道ブロック長	田村 健一	北ミート (株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
理事	東北ブロック長	富田 浩志	(株)とみひろ	990-0031	山形県山形市十日町4-1-3	023-635-1212	023-635-1228
理事	関東ブロック長	間中 昶亮		216-0031	神奈川県川崎市宮前区神木本町1-23-9	044-865-4128	044-865-4128
理事	中部ブロック長	杉浦 三代枝	スギ製菓 (株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
理事	北陸ブロック長	松本 延倫	土地家屋調査士事務所	918-8104	福井県福井市板垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
理事	関西ブロック長	佐藤 敬一	滋賀ダイハツ販売 (株)	520-3046	滋賀県栗東市大橋4-1-5	077-551-0081	077-551-0071
理事	中国ブロック長	小西 敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
理事	四国ブロック長	田中 正志	ギノー味噌 (株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田松ノ隣345-1	089-984-2135	089-984-7300
理事	九州ブロック長	廣瀬 透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
理事	沖縄ブロック長	石川 元義	(株)いしひろ文明堂	903-0104	沖縄県中頭郡西原町字兼久66	098-835-8001	098-835-8177
理事		竹花 豊	おやじ日本	150-0002	東京都渋谷区渋谷1-18-21-3階	03-3499-1877	03-3499-1877
理事	顧問	田中 義人	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
理事	顧問	伊藤 信幸	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
理事	顧問	太田 昌浩	(株)ムッシュ太田	980-0013	宮城県仙台市青葉区花京院2-1-61-3F	022-222-8860	022-222-8861
理事		縄田 良作		140-0014	東京都品川区大井1-16-1-2302	080-1267-4821	-
監事		鍵山 幸一郎	(株)幸栄企画	154-0001	東京都世田谷区池尻2-37-12-701	03-5712-8808	03-5712-8810
	顧問	橋本 典明	(株)インソップ	509-7716	岐阜県恵那市明智町1847-1	0573-55-0001	0573-54-4668

各地 代表世話人名簿

	会の名称	代表世話人	会社名	〒	住所	電話	FAX
海外	ブラジル	利 哲雄	日本企画 (株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
	中国	陳 曉龍	泰邦 (株)	540-0012	大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-801	06-6966-0028	06-6966-0029
	アメリカ	塩島 久	クリンテックシオガイブル本本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
	台湾	秋山 浩司	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
	北海道	ブロック長 田村 健一					
1	札幌	田村 健一	北ミート(株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
	東北	ブロック長 富田 浩志	副ブロック長 柳田 聡				
2	青森	中村 勝憲	(株)三和物産内	038-0003	青森県青森市大字石江字三好69-1	017-718-0260	017-718-0261
3	岩手	又川 俊三	(株)クワイエト	020-0022	岩手県盛岡市大通3-1-23-3F	019-606-3115	019-606-3133
4	宮城	柳田 聡	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
5	多賀城	小畑 真雄		985-0832	宮城県多賀城市大代1-13-3	022-364-4027	022-364-4027
6	山形	富田 浩志	(株)とみひろ	990-0031	山形県山形市十日町4-1-3	023-635-1212	023-635-1228
7	原町	木幡 勝彦	(有)コワタコーポレーション	957-0042	福島県南相馬市原町区常子蛭沢175-4	0244-32-0765	0244-32-0766
8	会津	白井 信介	(株)リオンドルコーポレーション	965-0878	福島県会津若松市中町4-36	0242-26-2218	0242-28-7028
9	たわら	小池 高司	(株)白モーターズ	963-4317	福島県田村市船引町東部台3丁目266-1	0242-61-6550	0242-61-6550
10	郡山	佐藤 克敏	(株)ヨークベニマル内	963-8543	福島県郡山市谷島町5-42	024-983-3100	024-983-3125
	関東	ブロック長 間中 昶亮	副ブロック長 洞 義郎				
	ブロック長	間中 昶亮		216-0031	神奈川県川崎市宮前区神木本町1-23-9	044-865-4128	044-865-4128
	副ブロック長	洞 義郎	田辺建設 (株)	102-0085	東京都千代田区六番町13	03-3222-5555	03-3239-0406
11	茨城	塚越 康男	(株)エンデバーツカコシ	304-0812	茨城県下妻市田下636	0296-44-2822	0296-44-2825
12	古河	板橋 孝司	(有)やなぎや	306-0011	茨城県古河市東1-4-19	0280-32-1776	0280-31-5273
13	栃木	原田 孝之	小澤製粉販売 (株)	329-0014	栃木県下都賀郡野木町野木2061	0280-56-0011	0280-56-0021
14	足利	福田 茂夫	(株)ヒューマンネットワーク	326-0826	栃木県足利市借宿町281-12	0284-73-1270	0284-73-2757
15	長岡	遊田 正文	(株)ニッセイ新潟	954-0124	新潟県長岡市中区島4086-1	0258-66-6750	0258-66-6749
16	新潟	清水 伸	(株)博達堂	950-0807	新潟県新潟市東区本工新町378-2	025-274-7755	025-274-7679
17	十日町	丸岡 武	(株)村山土建	948-0031	新潟県十日町市本町1-71-1	025-752-3721	025-752-3891
18	燕・三条	菊地 正明		940-2523	新潟県長岡市寺泊田頭700-2	0258-75-3365	0258-75-3365
19	埼玉	中村 孝明	草加建設 (株)	340-0051	埼玉県草加市長栄町1-628-1	049-943-7900	049-944-0248
20	京葉	木村 智博		276-0033	千葉県八千代市八千代台南1-16-6-206	090-8949-0097	
21	上総	小川 義則	(株)トーヨー施工サービス	299-0257	千葉県袖ヶ浦市神納2725-1	0438-63-1300	0438-63-3441
22	山武	野老 真理子	大里総合管理 (株)	299-3236	千葉県大網白里市みやこ野2-3-1	0475-72-3473	0475-72-4001
23	れいたく	富田 裕之	モラロジ研究所	277-0065	千葉県柏市ヶ丘ヶ丘2-1-1	047-173-3325	047-173-3324
24	東京	千種 敏夫	(有)エムシエス設計	194-0043	東京都町田市成瀬台2-30-14-C303	042-739-1926	042-739-1927
25	神奈川	中鉢 悟	中鉢建設 (株)	241-0001	神奈川県横浜市中区上白根町744-4	045-954-3497	045-954-3613
26	大和	山崎 雄雄	(株)ニッコー	242-0025	神奈川県大和市代官1-10-3	046-269-0217	046-269-0284
27	山梨	前濱 勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368
28	茂原	秋葉 幸男	御園建設 (株)	297-0029	千葉県茂原市高師521-6	0475-23-3732	0475-24-3481
29	日野	惟住 浩太郎		191-0032	東京都日野市三沢1508-10	045-594-7730	045-594-7730
	中部	ブロック長 杉浦 三代枝	副ブロック長 白鳥 宏明				
	ブロック長	杉浦 三代枝		216-0031	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
30	長野東信	江原 俊男	(有)ザック	386-0407	長野県上田市長瀬2927-1	0268-36-1234	0268-36-1237
31	小布施	木下 豊	文屋	381-0204	長野県上高井郡小布施町飯田45	026-242-6512	026-242-6513
32	伊東	白鳥 宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058

33	静岡	杉井 保之	(株)オリジン・コーポレーション	425-0041	静岡県焼津市石津1679	054-656-2040	03-6674-2451
34	磐田	金原 一平	キンバラ(株)	438-0086	静岡県磐田市見付1963-11	0538-35-5404	0538-34-0191
35	森町	榎原 淑友		437-0026	静岡県周智郡森町一宮94	0538-89-7810	0538-89-7810
36	浜松	黒柳 誠	(一社)未来学校	430-0933	静岡県浜松市中区鍛冶町124-5F	053-456-3919	053-451-3611
37	岐阜	松岡 浩	(株)タミサケ	503-2428	岐阜県揖斐郡池田町片山2957-1	0585-45-8555	0585-45-8500
38	美濃加茂	松井 芳明	桜井食品(株)	505-0051	岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣343	0574-54-2251	0574-54-2253
39	中津川	加藤 景司	(株)加藤製作所	508-0011	岐阜県中津川市駒場447-5	0573-65-4175	0573-65-4177
40	大正村	田中 義人	東海神栄電子工業(株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
41	豊橋	印南 道孝		440-0025	愛知県豊橋市井原町45-7	0532-62-0401	0532-62-0401
42	豊田	山中 敦子	(株)スーパーやまのぶ	470-0341	愛知県豊田市上原町1-30-1	0565-47-0047	0565-47-0048
43	西三河	杉浦 三代枝	スギ製菓(株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
44	名古屋	安藤 友治		458-0848	愛知県名古屋市中区緑区水広3-109-1	080-1619-0814	
45	三重	伊東 俊一	(有)南勢建築設計	516-0035	三重県伊勢市勢田町580-3	0596-25-7667	0596-25-8201
北陸							
	副ブロック長	市村 昭代史	村昭織維工業(株)	929-1332	石川県羽咋郡宝達志水町北川尻73	0767-28-2421	0767-28-3773
46	福井	松木 延倫	土地家屋調査士	918-8104	福井県福井市坂垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
47	石川	山口 勉	(株)エオネックス	920-0209	石川県金沢市東蚊爪町1-19-4	076-238-1181	076-238-9781
48	かが能美	山口 健次	(一社)山口商業社	923-1121	石川県能美市寺井町131	0761-57-1045	0761-57-1040
49	越中	松原 隆光	(株)ピア	939-8025	富山県富山市太郎丸西町2-6-12	076-422-0088	076-491-4692
50	おやべ	藤本 雅明	ふじもと自力研究所	932-0055	富山県小矢部市西町2-28	0766-68-0563	0766-68-0563
関西							
	副ブロック長	佐藤 弘一	ネパダインターナショナル(株)	658-0032	兵庫県東灘区向洋町中6-9神戸ファッションマート	078-846-2933	078-846-2931
51	滋賀	後藤 敬一	滋賀ダイハツ販売(株)	520-3046	滋賀県栗東市大橋4-1-5	077-551-0081	077-551-0071
52	高島	白井 則茂	(有)しらひ	520-1217	滋賀県高島市安曇川町中298	0740-32-0121	0740-32-3017
53	彦根	田中 喜一郎		527-0107	滋賀県東近江市今在家町286	050-5802-1485	0749-45-1867
54	大阪	下 正晴	(株)丸金	577-0815	大阪府東大阪市金物町5-13	06-6724-1055	06-6721-9009
55	泉州	丸山 春樹	(株)丸山製作所	597-0081	大阪府貝塚市麻生中942-1	0724-26-1575	0724-26-1575
56	京都	時政 和輝		601-8411	京都府京都市南区西九条北ノ内町11	075-681-9166	075-662-0187
57	奈良	平松 正孝	平松税理士事務所	619-0224	京都府木津川市兜台6-8-7	0774-73-2332	0774-73-3003
58	和歌山	奥村 政喜	アトリエオクムラ	641-0056	和歌山県和歌山市秋葉町12-1-101	073-446-5358	073-446-5359
59	西宮	石井 信次	エヌ・エフ・エー(株)	674-0084	兵庫県明石市魚住町西岡1043	078-962-5530	078-962-5530
60	尼崎不尽	森 迪彦	(一社)実践者の家	660-0054	兵庫県尼崎市西立花町2-19-8	06-6419-2464	06-6419-3886
中国							
	副ブロック長	宮川 洋司		755-0083	山口県宇部市南小羽山町1-8-7	080-2888-4678	0836-35-8207
61	岡山	小川 敏之		710-0835	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
62	広島	井辻 栄輔	井辻食産(株)	731-0103	広島県広島市安佐南区長束5-6-8	082-238-8793	082-238-1698
63	東広島	上野 和浩	上野物産(株)	739-0007	広島県東広島市西条太と丸3-1-15	082-423-2220	082-422-8022
64	福山・尾道	岩城 勇二	ソニー生命保険(株)	720-0811	広島県福山市紅葉町1-19-4F	084-927-3731	084-927-3744
65	安芸高田	山田 正治	(株)杉野自動車	731-0523	広島県安芸高田市吉田町山手1346-1	0826-43-0600	0826-43-0707
66	三原	岡本 淳治	(株)ザ・ワークス広島	723-0052	広島県三原市皆実4-6-3-1F	0848-61-5770	0848-61-5771
67	呉	佐々木 一幸	広ステーションホテル	737-0131	広島県呉市広中町4-29	0823-71-2233	0823-73-2135
68	松江出雲	坂本 美由紀	みゆき農園	693-0011	島根県出雲市大津町1393-4	0853-21-1589	0853-21-1589
69	浜田江津	稲元 正敏		697-0003	島根県浜田市分町600	0855-28-0574	0855-28-0574
70	益田	山崎 純	(株)キヌヤ	698-8503	島根県益田市常磐町4-38	0856-23-0865	0856-23-1131
71	下関	松村 久		751-0832	山口県下関市生野町2-18-6	083-252-4980	083-252-4980
72	宇部	宮川 洋司		755-0083	山口県宇部市南小羽町1-8-7	080-2888-4678	0836-35-8207
73	萩	柴田 千恵子		758-0011	山口県萩市椿東4698-15	0838-22-9514	0838-22-9514
74	岩国	新保 登喜春		740-1425	山口県岩国市由宇町南沖1-6-30	0827-63-3507	0827-63-3507
75	山口市	岡本 拓也	朴の森 鍵山記念館	754-0894	山口県山口市佐山131-1-2	083-989-3884	083-989-3884
四国							
	副ブロック長	田中 正志	副ブロック長 鍛谷 幸一				
76	香川	久保 勝是		762-0025	香川県坂出市川津町729	0877-45-1254	0877-45-1254
77	阿南	古川 博	古川運送(有)	779-1620	徳島県阿南市福井町吉谷54-1	0884-34-3070	0884-34-2868
78	徳島	鍛谷 幸一	(株)ふじや	779-3117	徳島県徳島市国府町日開字奥456-2	088-642-0050	088-642-9888
79	愛媛	田中 正志	キノー味噌(株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田345-1	089-984-2135	089-984-7300
80	四国中央	毛利 久美子		799-0101	愛媛県四国中央市川之江町515-1-103	0896-58-5665	0896-58-5665
九州							
	副ブロック長	廣瀬 透	副ブロック長 鎌田 善政(同)中尾 康二				
81	糸島	馬渡 誠	浮岳さん	819-1116	福岡県糸島市前原中央2-7-8-901	090-4583-7773	092-846-5288
82	福岡	富吉 装束右衛門		811-2247	福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2-4-3	092-931-8155	092-931-8120
83	北九州	大下 英勝	新星電機(株)	805-0008	福岡県北九州市八幡東区枝光本町7-7-901	093-980-7375	093-980-7375
84	筑後・八女	矢加部 尚武	(有)アークシティ	833-0012	福岡県筑後市溝口762-1	0942-48-5531	0942-53-6777
85	筑豊	廣瀬 透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
86	長崎	山根 建治	ナガサキデザインセンター	850-0911	長崎県長崎市東山手町8-18	095-820-5598	095-820-5598
87	佐世保	梅元 由之		857-0863	長崎県佐世保市三浦町5-7-16	0956-25-1268	0956-23-3055
88	大分	矢野 雅則	合同会社 矢野商店	870-1137	大分県大分市宮崎台3-2-2	097-567-1772	097-567-1772
89	日田	長野 次郎	(株)光会館	877-0071	大分県日田市本中町7-12	0973-26-3077	0973-23-0158
90	熊本	養田 修治		860-0061	熊本県熊本市西区上高橋2-16-15	090-3328-1150	096-329-8308
91	八代	松永 謙悟	ふじ彩(株)	866-0873	熊本県八代市横手町1680-2	080-6428-5942	0965-35-8804
92	玖珠	穴井 道博		879-4413	熊本県玖珠郡玖珠町塚脇475-1	0973-72-5959	0973-72-5171

93	人吉	田中 裕二	(株)リーな21	865-0005	熊本県人吉市上青井120-4	0966-22-1123	0966-22-1103
94	宮崎	奥野 幸子		880-0944	宮崎県宮崎市江南2-31-14	0985-51-3788	0985-52-7978
95	鹿児島	鎌田 善政	鎌田建設(株)	899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根141	0995-46-3000	0995-46-3114
96	薩摩隼人心洗組	田原 憲夫		899-5115	鹿児島県霧島市隼人町東郷402	0995-42-8141	0995-42-8141
97	さつま川内	小城 年久	小城製粉(株)	895-0041	鹿児島県薩摩川内市隈之城町1892	0996-22-4161	0996-20-3973
98	指宿えい	土橋 真也	めぐみ写真館	891-0701	鹿児島県南九州市頤娃町郡307-3	0993-36-0148	0993-36-0510
99	志布志	田中 裕之	(株)古木建設	899-7402	鹿児島県志布志市有明町野井倉1118-2	099-474-1234	099-474-1428
100	徳之島	安田 司		891-7102	鹿児島県大島郡徳之島町竜徳986-8	090-2519-9308	
101	ヨロン	本園 金盛	楽園荘	891-9307	鹿児島県大島郡与論町古里1279	0997-83-0335	0997-97-3574
沖縄							
	ブロック長	石川 元義	副ブロック長	川畑 文夫	佐和田 健二		
	ブロック長	石川 元義	(株)いしかわ文明堂	903-0104	沖縄県中頭郡西原町字兼久66	098-835-8001	098-835-8177
102	沖縄南部	佐和田 健二	(株)てこだ	901-2104	沖縄県浦添市当山2-5-6	098-943-3922	098-879-1505
103	宮古島	西里 長治	(株)パラダイスプラン	906-0015	沖縄県宮古島市平良字久貝870-1	0980-73-4140	0980-79-0005
104	沖縄中部	川畑 文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
105	やんばる	喜瀬 朝夫	(有)朝日興業企画	905-0021	沖縄県名護市東江5-9-23	0980-52-1588	0980-52-5375

便教会 名簿

1	宮城	宮城便教会	村上 幸宏	983-0006	宮城県仙台市宮城野区白鳥2-15-10	022-258-4641	022-258-4641
2	群馬	群馬便教会	新井 国彦	370-0042	群馬県高崎市貝沢町447	090-8871-6929	
3	東京	東京便教会	山崎 敏哉	201-0013	東京都狛江市市元和泉1-19-4-210	080-3012-1519	
4	埼玉	埼玉便教会	村田 陽	340-0006	埼玉県草加市八幡町64-3	090-9146-2626	
5	静岡	静岡便教会	柿島 由和	416-0947	静岡県富士市宮下414-2	090-9932-5969	
6	長野	長野便教会	太田 智明	383-0021	長野県中野市西2-9-2	090-2238-2934	
7	愛知	愛知便教会	高野 修滋	445-0802	愛知県西尾市米津町天竺桂27	090-4215-1727	
8	大阪	大阪便教会	西橋 聖次	538-0044	大阪府大阪市鶴見区放出東1-24-24	090-7309-4821	
9	兵庫	兵庫便教会	木田 重果	665-0034	兵庫県宝塚市小井5-3-43-412	090-4293-3428	
10	京都	京都山城便教会	小笹 大道	602-8173	京都府京都市上京区金馬場町163	090-8467-9638	
11	三重	伊勢便教会	上野 祐一	516-0043	三重県伊勢市藤里町68-207	080-1615-7317	0596-65-7209
12	九州	福岡便教会	泊 宏治(代行)	819-0036	福岡県福岡市西区吉武403-23	090-2963-3951	

日本を美しくする会 本部事務局	160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	03-6304-5880	03-6304-5990
-----------------	----------	---------------------	--------------	--------------

本書を読んでくださった方へ

「子どもたちに体験させたいな」「自分もやってみたいな」とお感じになりましたら、まずこの名簿の「各地の代表世話人」あるいは「便教会の代表者」に連絡をされませんか。

どうぞ、勇気をもって一步を踏み出してください。

●全国の先生方へ

「子どもたちに体験させたいな」と希望される先生へ。

時間は60～180分。準備物は、濡れてもよい靴、マスクなど。

詳細はご相談です。

●一般の方へ

掃除は「自己修養」が本題ですので、「ひとり掃除」でも結構ですが、さらに同じような気持ちを持つ人との活動は、より楽しいものになると思います。

各会の代表世話人、便教会の代表者の方へ

もし先生や一般の方から問い合わせがありましたら、ぜひ丁寧に温かく迎えてあげて下さい。

掃除の活動が、教育分野や一般に広まるために、ご支援のほどよろしくお願い致します。

「川柳コーナー」を始めます！



初めまして。中川千都子です。皆

さんが日頃感じたことやお掃除で気づいたことを川柳に詠んでいたいて、このコーナーで紹介いたします。

さて、皆さんは川柳にどんなイメージを持っておられますか？

もしかすると、サラリーマン川柳（サラ川）がパツと頭に浮かぶかもしれませんね。実はサラ川が本来の川柳ではありません。中には優れた作品もありますが、サラ川のは大半は世の中の皮肉や言葉の語呂合わせ等ジョークの範疇。

川柳は江戸時代から伝わる文

芸。その川柳の重要な要素として「おもしろ」がありますが、それはダジャレなどの単なる言葉遊びをおもしろがるのではなく、笑ったあとにふと人間味を感じるようなものを指します。

有名な古川柳をご紹介しますとなきなきもよい方をとるかたみわけ本降りになって出てゆく雨宿り

いかがですか？ なんだか人間のこころの複雑さがうまく表現できているでしょうか？

川柳でやってはいけないことは、他をおとしめることです。自分の情けなさを笑って詠むのは結構ですが、他を嘲笑することはいけません。サラ川には妻や夫、政治家や有名人のことをおとしめておもしろがる句が多いのは残念なところでは。

ではいよいよ一緒に川柳を詠んでまいりましょう。

第40号お題「タバコ」または「自由吟」
第41号お題「ホウキ」または「自由吟」
*「自由吟」とは自由テーマです。
*随時受付・締め切り22年1月末
*宛先 日本を美しくする会
FAX 03 6360 4599 0
Eメール nihonsouji@sojii.jp

川柳は17音字、リズムが肝心。最初のうちは指を折りおり、楽しみながら自由な発想で作句してみてくださいね。次号からワンプointレッスンも始めます。
Let's 川柳！

中川千都子（なががわちづこ）
大阪市在住。心理カウンセラー、川柳作家。
ちずそら川柳セラピー主宰。2020年現代川柳作家大賞受賞。2002年より川柳を始める。故時美新子直弟子。
著書『石の名前』（左右社）
2015年より「道頓堀を楽しく掃除する会」に参加。

ひろば

コロナ第5波のあとの小康状態ですが、各地でコロナ禍での活動の工夫が出てきています。また、毎月の執行部会、理事会の議論で、会の方向性が見えてきつつあります。

【清風掃々】第38号読者の声

○学校のトイレ掃除教室

- ・文科省HPに載って弾みがつきます。教育長や先生方に、「清風掃々」を配る際にお伝えします。

○Webマガジン

- ・どの頁も生き生きとしており、特にカラー写真がいいです。

○夢拾い 上野和浩さん

- ・FB友から「拾わせていただく」という言葉、素敵です」とありました。

○イタリア通信(1)

- ・「外人さんが掃除道の本を読んでいる、すごい」と大きな衝撃でした。初めて知る内容でした。
- ・近所のご婦人と、「囚人が相談役に握手を求めて集まってきた」、こんなはなしができる人がいるのかと盛り上がりました。

○東京五輪おもてなし清掃

- ・五輪が気持ちよくできたのも、皆様のおかげと感謝しました。

○台湾美化協会

- ・阮さんから「日本の皆さんにお越し頂きたい」。清風掃々は、仲間とのコミュニケーションツールです。

○教育と掃除

- ・こうした取り組みの掲載は、一人で頑張っている全国の先生の励みになります。そんな先生が立



派な若者を育てると信じます。

- ・静岡の柿島先生の教育改革論にはびっくり、胸のすく思いです。

○ひとり掃除

- ・福田良子さんらの、20数年のお掃除なくして有形文化財登録はなく、行ってみたくありません。
- ・地域を支える方にスポットを当てるところに、この冊子の意義を感じます。

○掃除履歴書 小畑貞雄さん

- ・13年で150個を越える釣りがね磨きは圧巻です。
- ・経歴などほとんど知りません

でしたが、尊敬の念を深くしました。

○佳書抄録

・イタリア、ルーマニアなど海外に掃除道が広がっていることが理解される良い内容でした。

○ちいき通信

・各地の実践者の思いがひしひし伝わり、毎回勇気と励みをもらいます。

○ひろば

・「清風掃々」、寺田先生が名付け親と知り、感激して拝読しました。

○全体に

・見開き2頁が多く、とても読みやすいです。川柳や漫画など、さらに楽しめる内容になれば、一気に拝読し、とても感動しました。ほとんどの記事に付箋を貼りました。

執筆者様から 柿島由和

― 編集の裏事情 ―

「静岡便教会十年の歩み」を、第36号から3回連載していただきました。当初縄田編集長から、一度富士市に出向いて取材したいと電話がありました。コロナ禍で会うことができなくなりました。何度もメールやお電話をいただき、私という人間を理解・納得するまで取材してくださいました。アドバイスのまま何度も書き直していると、最終的には3万5千字になりました。私の経歴まで整理してくださり、おかげで10年間の活動を振り返ることができました。テーマを「便教会立ち上げ」「大震災支援」「心願・教育改革」と分け、どの号から読んでもわかるようにまとめていただきました。

3万5千字の長文を9千字に収め(各号3千字*3号)、しかもそれらを読み手に興味を持って読んでいただける編集…これらを見て、私は書き手の気持ちを読み手に伝える、「編集」の重要性がよくわかりました。第38号は、多くの方に掃除を超えた私の心願をお伝えする機会をいただけて、この上ない喜びです。



（コメント）

森信三先生 「教職を辞めるまでに、少なくとも一冊の書物として結晶させる。自分の公生涯にとどめをさす」。

森先生は、自伝、学級通信、教育実践、故人追悼集などの「実践記録」作成を、ご自分でも実践され、お弟子さんにも強く勧められました。何事も「やりっ放し」にせず振り返ることで、反省や教訓、今後の進め方などを自ら見出すことができるからと思われます。

柿島先生は、来年の定年退職に際して、今回の文章をもとに「小冊子」発行を予定されているとか。退職後も、充実した人生を過ごされるだろうと思います。

（編集室）

【編集後記】

▼なかよしの掃除に学ぶ会

自宅に道場をつくってまで、若者と学ぶ羽根さんに驚きました。

▼イタリア通信（２）

イタリアに掃除道を広める４冊の本。今回はイタリアでの実践例です。

▼長野県中学校清掃サミット

オンラインによる学校横断の掃除の取り組みと、中学生の純粋な感性に感銘を受けます。

▼寺田一清先生を偲ぶ

泉州掃除に学ぶ会の発足、および鍵山相談役も世に出たきっかけは寺田先生であつたと感謝されています。

▼問題教師の私

自分の過去をよくここまで書いて

ていただいたと、感謝します。

▼新宿調理師専門学校

校風一新に向けた、校長先生と職員・生徒の皆さんのご努力がよくわかりました。

▼リコーの社会貢献活動

巨大企業の取り組みに、敬意と勇気をいただきます。SDGsなど「教育」の大切さを感じます。

▼夫婦夢拾い

「泥にまみれ、風雨に晒され、車に轢かれ、見向きもされないゴミ…：憐憫の情…捨てた人に代わって懺悔の気持ち起き、ゴミを“夢兄弟”と呼ぶように」

▼私の掃除履歴書

小畑さんのトイレ掃除は、避難所の被災者の気持ちを和らげただろうと思います。

▼佳書抄録

20年間鍵山相談役の秘書を務める阿部豊さんの講演録。

▼ちいき通信

4ページに増やし、ひとり掃除、他の団体など、各地のいろいろな話題を取り上げました。

▼NPO

知られているようで、あまり知られていないNPO。今後も情報公開に心がけます。

▼「川柳コーナー」

「溝つまるゴミがないのでつまらない」、鍵山相談役の句と、ある方から聞きました。投稿をお待ちします。



【編集室より】

○料理と記事

お料理は、料理人の腕がいくら良くても、「食材」がよくなければおいしいものは作れません。それと同じで、清風掃々も「編集」に加え、「話題」探しに力を入れるべく、4月特派員の活動を始めました。

○特派員制度

「情報のプラットフォーム」

現在28名おられます。ZOOMミーティングを2か月に1回持ち、編集会議、話題発表、企画などを、楽しく話し合っています。

特派員が、各地の掃除の話題を共有し、これを記事づくり、ひいては活動活発化につなげようと思います。今後全県、各地に…。

（記・縄田良作 140-0014 東京都品川区大井1-16-1 2302）

清風掃々 第39号 2021年12月発行（年3回発行）

発行 認定NPO法人 日本を美しくする会
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-6-601
電話 03-6304-5880 FAX 03-6304-5990
Eメール nihonsouji@souji.jp
ホームページ http://www.souji.jp/

発行人 利哲雄
編集人 縄田良作
印刷製本 晃南印刷株式会社

賛助会員 個人 年間 1口 1,000円（3口以上）
賛助会員 法人 年間 1口 10,000円（1口以上）
口座名
特定非営利活動法人 日本を美しくする会

1.ゆうちょ銀行から
口座記号・番号：10030-44442691
2.ゆうちょ銀行以外の金融機関
店名：008
預金種目・番号：普通・4444269

*ご入会は、まず事務局に連絡頂き、こちらから指示を差し上げてからのお振込みをお願いします。

「清風掃々」第39号

二〇二二年十二月発行（年三回発行）

〒一六〇一〇二三
東京都新宿区西新宿六―二十六―六〇一

TEL 〇三―六三〇四―五八八〇
FAX 〇三―六三〇四―五九九〇

発行／認定NPO法人 日本を美しくする会
編集／清風掃々編集委員会



Web マガジン

イラスト作者 裏表紙 西山 英子さん
本文 鈴木砂予子さん
青田 菜生さん
秦 由見子さん